

## 第2章 食肉購入量の変化

ここでは、食肉購入量の変化を、年次、所得階層、世帯構成別にみることにする。

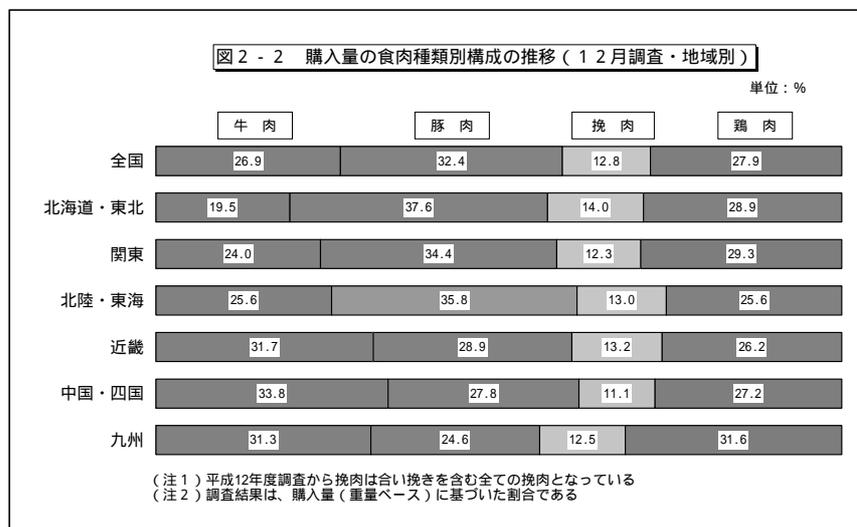
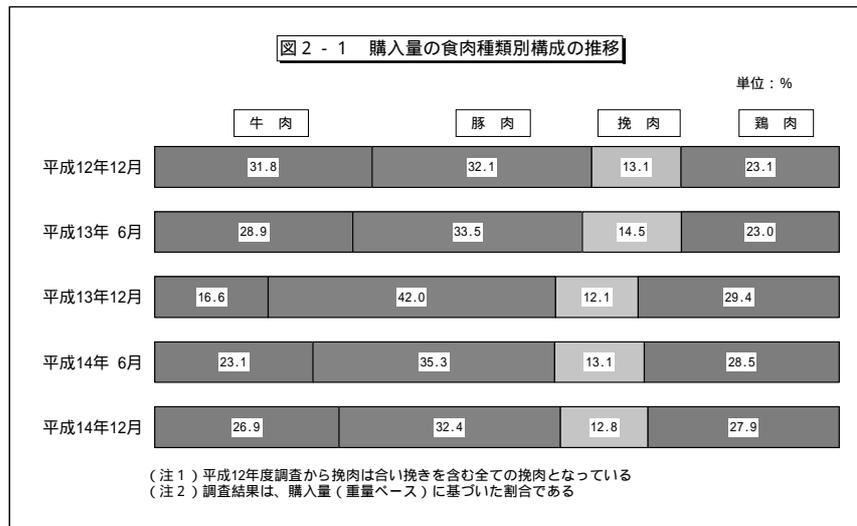
### 1 食肉の購入量

#### (1) 小括

今回の調査における食肉購入量の種類別構成比は、「豚肉」が 32.4%と最も多く、次いで、「牛肉」が 26.9%、「鶏肉」が 27.9%、「挽肉」が 12.8%となっている。「牛肉」は、BSEの影響が大きかった前年同月と比較すると、BSE発生以前の水準にほぼ回復してきたことがわかる。(図2-1)

地域別でみると、西日本で牛肉の占める割合が高いのに対し、東日本では豚肉の占める割合が高くなっている。挽肉と鶏肉については、特に大きな差異はみられない。

(図2-2)



食肉の種類別に世帯当たりの1週間の平均購入量をみると、牛肉が395.9g(食肉全体に対する比率は26.9%)、豚肉が475.9g(同32.4%)、挽肉が188.6g(同12.8%)、鶏肉が410.5g(同27.9%)となっている。(表2-1)

このうち、牛肉についてその構成をみると、牛肉全体の購入量395.9gのうち和牛肉は175.5g(牛肉全体に対する比率は44.3%)、その他の国産牛肉は136.4g(同34.5%)、輸入牛肉は84.0g(同21.2%)となっている。

また、それぞれの食肉について、平均購入量を前年同月の調査結果と比較すると、牛肉全体で著しい増加がみられる。前年同月では、BSE等の影響から購入量は著しく減少したが、今回調査では、それぞれBSE発生以前の水準には回復しつつある。輸入牛肉については、横這いとなっており、景気の悪化から、需要が低価格帯にシフトしたことが一因と考えられる。

豚肉については、牛肉の代替需要から大幅な増加がみられたが、今回調査ではBSE発生前の水準に戻っている。挽肉、鶏肉については、いずれもほぼ横這いとなっている。

1週間について、食肉種類別に1回当たり購入量の世帯割合をみると、食肉の種類にかかわらず、いずれも200gから500gに集中しており、このうち「300g位」を購入する世帯が最も多くなっている。(表2-2)

表2 - 1 食肉種類別1週間の平均購入量

	調査対象数 世帯	牛肉				豚肉 g	挽肉 g	鶏肉 g	
		全体 g	和牛肉 g	その他国産 g	輸入牛肉 g				
調査時期	平成12年 6月	2,000	435.2	214.8	155.9	64.5	492.5	196.2	334.9
	12月	2,000	467.2	200.1	208.0	59.1	471.3	191.8	339.5
	平成13年 6月	2,000	407.6	163.6	191.5	52.5	472.5	204.1	324.7
	12月	2,000	237.4	106.3	77.9	53.2	600.6	172.9	420.3
	平成14年 6月	2,065	335.9	135.1	111.2	89.6	513.5	190.2	414.2
	12月	2,151	395.9	175.5	136.4	84.0	475.9	188.6	410.5
所得階層	300万円未満	192	302.4	135.6	97.5	69.4	409.7	174.3	342.2
	300～499万円	604	335.7	136.3	116.0	83.4	435.9	160.8	379.4
	500～699万円	504	398.6	178.2	132.8	87.5	487.6	210.0	412.1
	700～999万円	541	466.8	201.4	170.4	95.0	527.2	201.9	450.7
	1000万円以上	247	478.4	243.7	153.4	81.3	495.1	203.2	440.5
	無回答	63	301.2	160.8	119.1	21.3	451.5	153.9	442.9
検定結果：**									
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	521	359.5	148.7	107.1	103.7	462.9	208.3	419.1
	成長期の子供がいる世帯	537	551.0	205.4	198.2	147.4	595.5	258.9	512.2
	20歳代の成人がいる世帯	501	346.7	152.2	129.9	64.6	476.6	202.6	390.2
	子供がいない世帯	364	346.0	206.0	112.7	27.3	421.1	100.4	341.3
	高齢者のみの世帯	228	300.6	168.7	109.6	22.3	309.9	87.7	306.8
検定結果：**									
家事担当者年齢	30歳未満	265	278.3	113.1	97.8	67.4	452.1	202.3	383.6
	30～39歳未満	667	377.4	149.2	118.1	110.0	479.6	206.2	423.6
	40～49歳未満	457	517.7	202.2	191.5	123.9	554.3	248.9	481.8
	50～59歳未満	385	418.7	202.5	152.5	63.7	480.1	155.1	379.9
	60歳以上	377	340.0	205.8	112.4	21.8	386.6	108.7	351.3
検定結果：**									
職業	持っている	908	428.4	180.1	151.4	96.9	487.2	192.6	412.2
	持っていない	1,212	367.5	169.7	123.7	74.2	470.5	186.0	412.5
	無回答	31	548.6	268.8	191.2	88.6	353.2	171.8	286.1
検定結果：**									
地域	東日本	1,287	326.2	135.6	111.0	79.7	507.4	184.5	395.9
	西日本	864	499.4	234.9	174.2	90.3	428.9	194.6	432.3

(注1) 調査全世帯(2151世帯)の平均購入量

検定結果：\*\*

(注2) 牛肉全体の平均購入量は、和牛肉、その他の国産牛肉、輸入牛肉それぞれの平均購入量の合計

(注3) 平成12年度から挽肉には合い挽き以外の挽肉も含まれる

(注4) 調査票の記入方式が変更になったことから、平成12年度からデータは推計値ではなく購入実数に基づいた計算値であるので留意されたい

表2 - 2 食肉種類別1回当たりの購入量の世帯割合

		購入 世帯数	延べ購入 回数	100g 位	200g 位	300g 位	400g 位	500g 位	600g 位	700g 位	800g 位	1kg 以上
		世帯		%	%	%	%	%	%	%	%	%
和牛肉	平成12年12月	808	1,155	3.2	27.0	32.7	15.8	10.8	4.2	1.6	2.0	2.7
	平成13年6月	752	1,032	3.5	33.4	34.4	12.9	9.2	2.9	0.4	1.9	1.5
	12月	480	605	2.7	29.2	30.6	14.4	12.1	4.2	2.1	2.3	2.5
	平成14年6月	622	863	5.1	31.4	32.6	12.7	9.6	3.2	1.3	1.6	2.4
	12月	742	1,014	3.4	22.4	28.0	21.2	10.1	5.4	2.6	3.1	3.9
その他の国産牛肉	平成12年12月	851	1,159	2.1	23.5	35.5	17.0	12.1	3.8	1.4	2.0	2.6
	平成13年6月	861	1,149	2.7	29.7	35.3	14.2	9.2	3.3	1.7	2.0	2.0
	12月	377	468	2.1	28.6	38.2	12.7	9.0	4.2	1.3	1.3	2.4
	平成14年6月	551	701	3.1	29.8	35.0	13.4	9.8	4.0	1.6	1.6	1.6
	12月	657	829	3.8	26.5	31.1	20.1	7.9	3.7	1.1	2.3	3.7
輸入牛肉	平成12年12月	241	278	2.1	16.2	34.0	13.7	15.4	5.8	2.1	4.1	6.6
	平成13年6月	242	273	3.3	16.5	29.8	19.4	14.9	7.4	4.1	2.5	2.1
	12月	213	253	0.5	17.4	29.1	18.3	16.0	7.0	2.8	3.8	5.2
	平成14年6月	342	420	3.5	14.3	25.4	19.6	15.8	7.6	3.2	4.4	6.1
	12月	352	428	2.6	14.8	25.9	23.9	15.3	6.0	4.0	2.3	5.4
豚肉	平成12年12月	1,716	2,828	2.5	27.1	35.3	17.0	9.6	3.4	1.9	1.5	1.8
	平成13年6月	1,712	2,851	2.7	26.5	36.2	16.4	10.9	3.3	1.5	1.1	1.3
	12月	1,806	3,518	3.1	27.1	34.8	15.4	10.6	3.3	2.0	1.8	1.9
	平成14年6月	1,773	3,217	3.9	27.5	33.8	16.6	9.5	3.3	2.1	1.4	1.9
	12月	1,848	3,327	3.0	26.1	33.6	17.4	9.6	4.2	2.2	1.5	2.5
挽肉	平成12年12月	947	1,117	3.7	25.2	33.2	14.8	13.9	4.3	1.1	1.5	2.3
	平成13年6月	1,026	1,229	5.0	26.1	36.5	12.1	12.7	3.3	1.7	1.1	1.6
	12月	842	1,015	3.8	24.3	34.7	15.1	15.3	3.1	0.7	1.3	1.7
	平成14年6月	935	1,113	6.0	21.1	29.3	16.6	14.8	6.1	1.9	2.4	1.9
	12月	967	1,135	4.4	19.6	25.3	25.8	15.4	4.2	1.2	2.1	2.0
鶏肉	平成12年12月	1,355	1,755	3.4	20.2	28.6	19.1	14.5	4.8	2.7	2.0	4.6
	平成13年6月	1,310	1,661	2.4	20.8	24.4	19.6	17.3	6.0	3.1	2.5	3.9
	12月	1,525	2,141	2.8	20.3	28.1	19.0	14.6	5.2	3.0	2.9	4.2
	平成14年6月	1,517	2,165	3.0	19.8	25.8	19.1	16.3	6.1	3.3	2.8	4.0
	12月	1,584	2,241	3.5	16.9	26.4	22.8	15.3	6.1	2.7	3.4	3.0

(注1) 延べ購入回数は各購入世帯の1週間当たりの購入回数の合計

(注2) 平成12年度調査から挽肉には合い挽き以外の挽肉も含まれる

(注3) 平成12年度から調査結果は実際の購入価格に基づいた計算値であるので、調査結果の比較に当たっては留意されたい

(2)牛肉

和牛肉

和牛肉の1回当たりの購入量は、「300g位」が最も多く28.0%を占め、次いで「200g位」が22.4%、「400g位」が21.2%となっており、200gから400gに集中している。

(前掲表2-2)

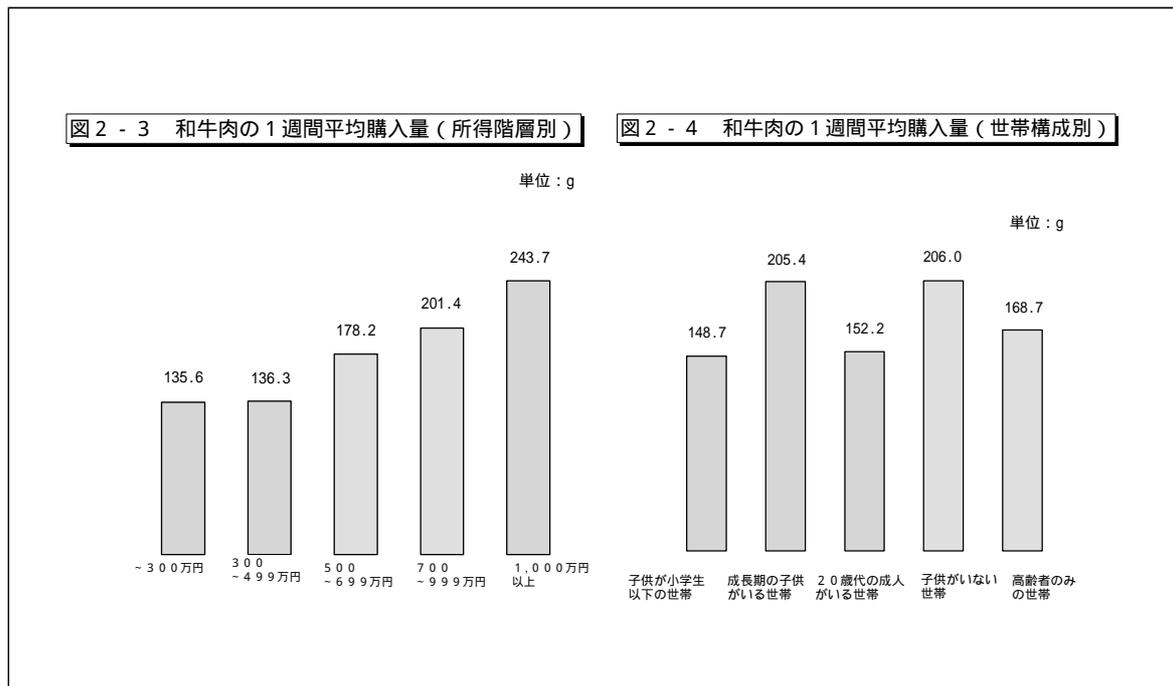
ちなみに、1世帯1週間当たりの平均購入量は175.5gとなっている。

(前掲表2-1)

これを所得階層別で見ると、所得階層が高くなるにつれて、平均購入量が多くなる傾向がみられる。(図2-3)

世帯構成別で見ると、成長期の子供がいる世帯と子供がいない世帯で平均購入量が増加している。(図2-4)

地域別で見ると、西日本が東日本を大きく上回っている。(前掲表2-1)



## その他の国産牛肉

その他の国産牛肉の1回当り購入量は、「300g位」が31.1%と最も多く、次いで「200g位」が26.5%、「400g位」が20.1%となっており、和牛肉と同様200gから400gに集中している。(表2-2)

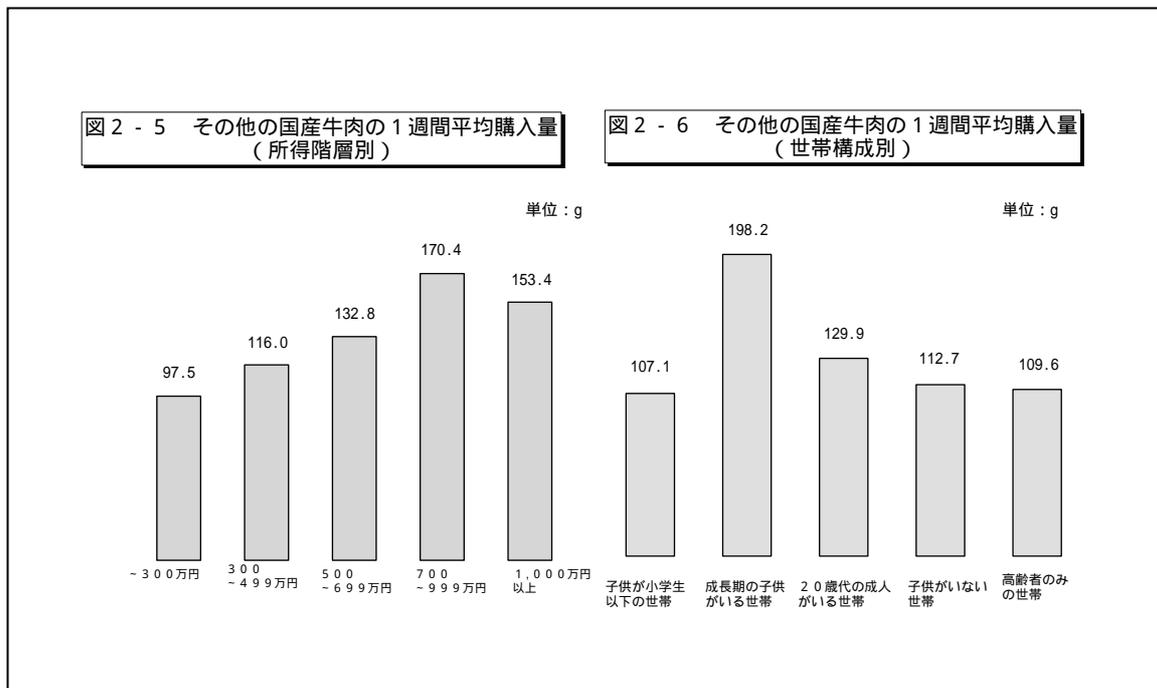
ちなみに、1世帯1週間当たりの平均購入量は136.4gとなっている。(表2-1)

所得階層別でみると、和牛肉に比べ所得階層による購入量の差は、和牛肉よりは小さいものの、高所得層でかなり多くなっている。(図2-5)

世帯構成別でみると、成長期の子供がいる世帯で購入量が最も多くなっている。

(図2-6)

地域別では、和牛肉と同様、西日本が東日本を大きく上回っている。(表2-1)



## 輸入牛肉

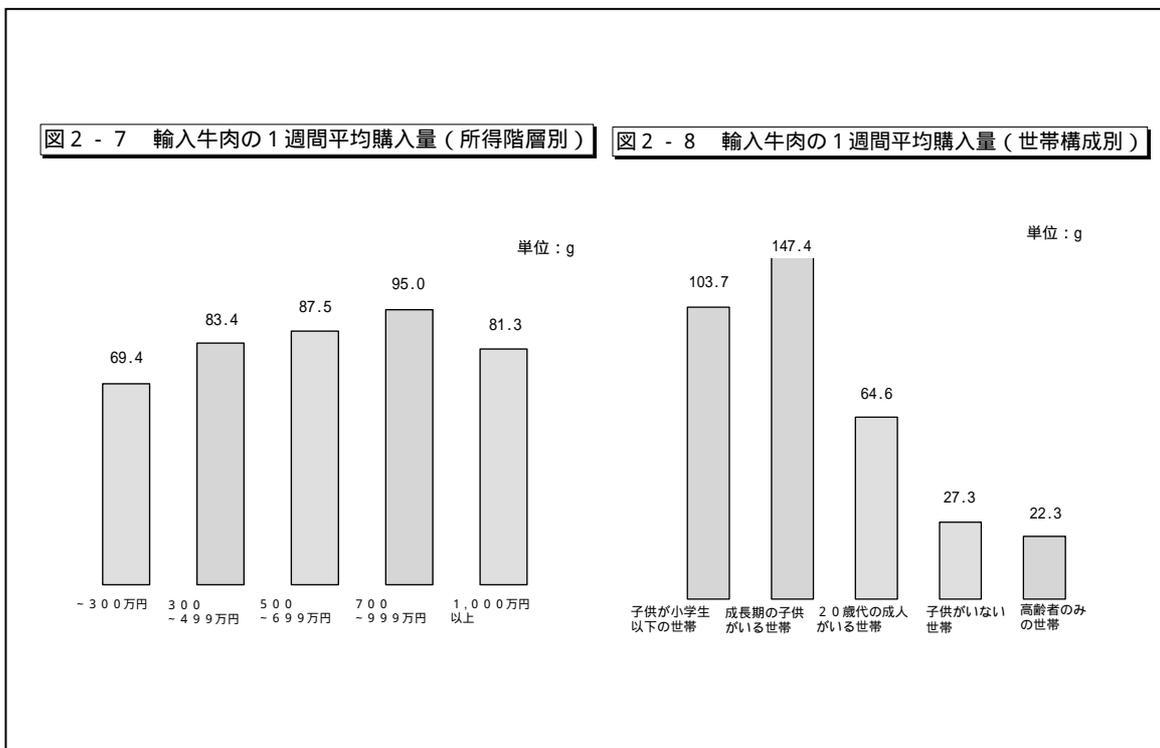
輸入牛肉の1回当たりの購入量は、「300g位」が最も多く25.9%、次いで「400g位」が23.9%、「500g位」が15.3%、「200g位」が14.8%となっている。1回当たりの購入量は200gから500gに集中している。(表2-2)

ちなみに、1世帯1週間当たりの平均購入量については84.0gと、国産の牛肉と比べて少なくなっている。(表2-1)

所得階層別で見ると、所得階層による平均購入量の差はほとんどない。(図2-7)

世帯構成別で見ると、成長期の子供がいる世帯で平均購入量が最も多く、最も平均購入量が少ない高齢者のみの世帯の6倍以上となっている。(図2-8)

地域別では、国産の牛肉と同様、西日本が東日本を上回っている。(表2-1)



### (3) 豚肉

豚肉について1回当たりの購入量をみると、「300g位」が33.6%と最も多く、次いで「200g位」が26.1%、「400g位」が17.4%となっている。1回当たりの購入量は200gから400gに集中している。(表2-2)

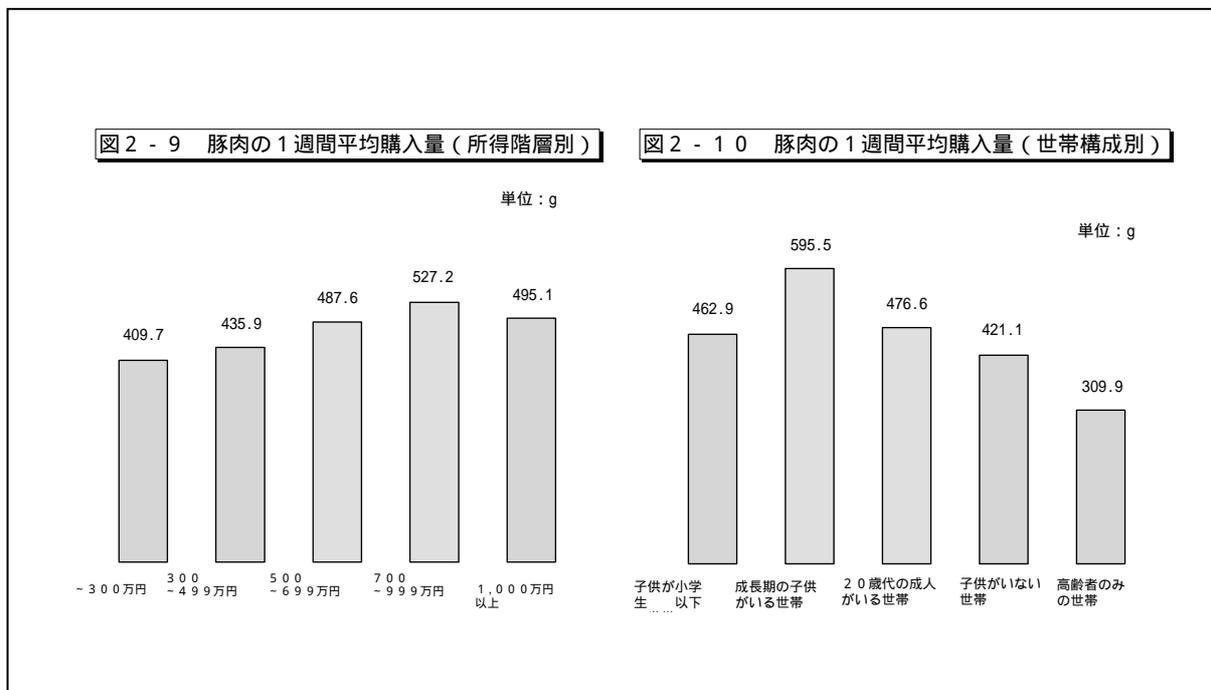
ちなみに、1世帯1週間当たりの平均購入量は475.9gとなっており、前年同月と比較すると大きく減少している。(表2-1)

所得階層別でみると、中高所得層で平均購入量がやや多くなっている。(図2-9)

世帯構成別でみると、成長期の子供がいる世帯で平均購入量が最も多くなっている。

(図2-10)

地域別でみると、牛肉と異なり東日本が西日本を大きく上回っている。(表2-1)



#### (4) 挽肉

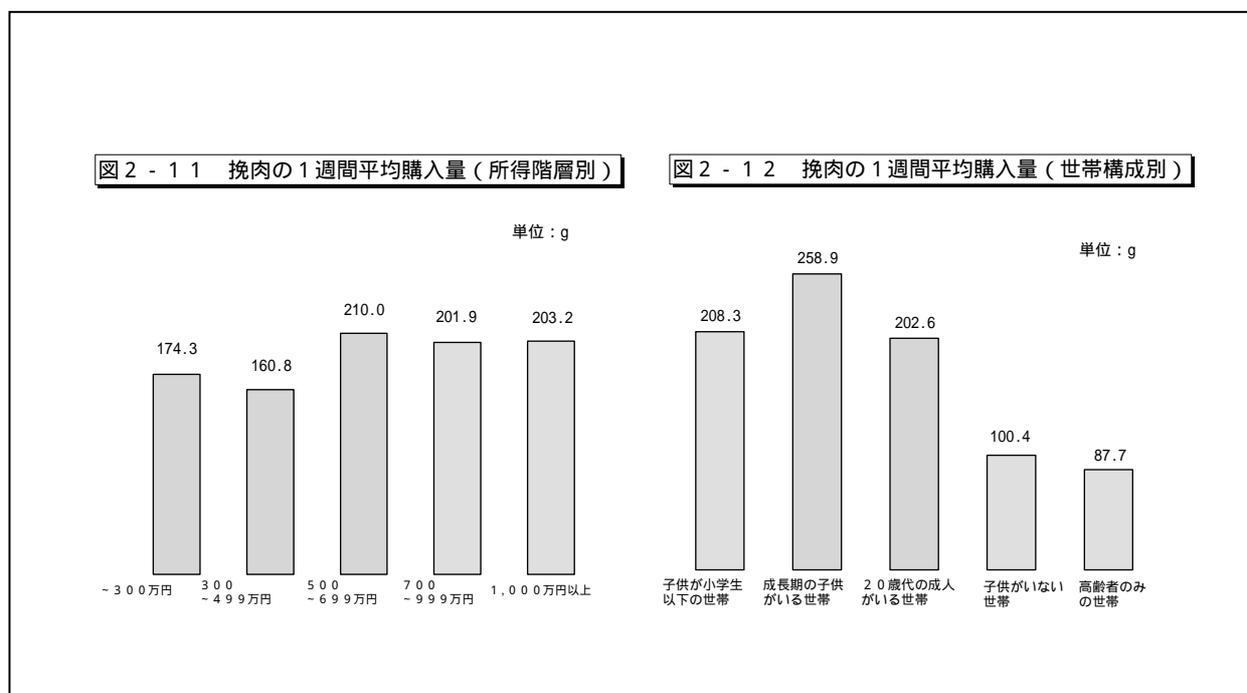
挽肉について1回当たりの購入量をみると、「400g位」が25.8%と最も多く、次いで「300g位」が25.3%、「200g位」が19.6%、「500g位」が15.4%となっており、200gから500gに集中している。(表2-2)

ちなみに、1世帯1週間当たりの平均購入量は188.6gとなっている。(表2-1)

これを所得階層別でみると、所得階層による差異は比較的小さい。(図2-11)

世帯構成別でみると、成長期の子供がいる世帯では258.9gと他の世帯層を大きく上回っている。これに対し、高齢者のみの世帯における平均購入量はかなり少なく、子供がいる世帯の3分の1程度にすぎない。(図2-12)

地域別では、東日本、西日本が同程度となっている。(表2-1)



(5) 鶏肉

鶏肉についても1回当たりの購入量は「300g位」が26.4%と最も多く、次いで「400g位」が22.8%、「200g位」が16.9%、「500g位」が15.3%となっており、200gから500gに集中している。(表2-2)

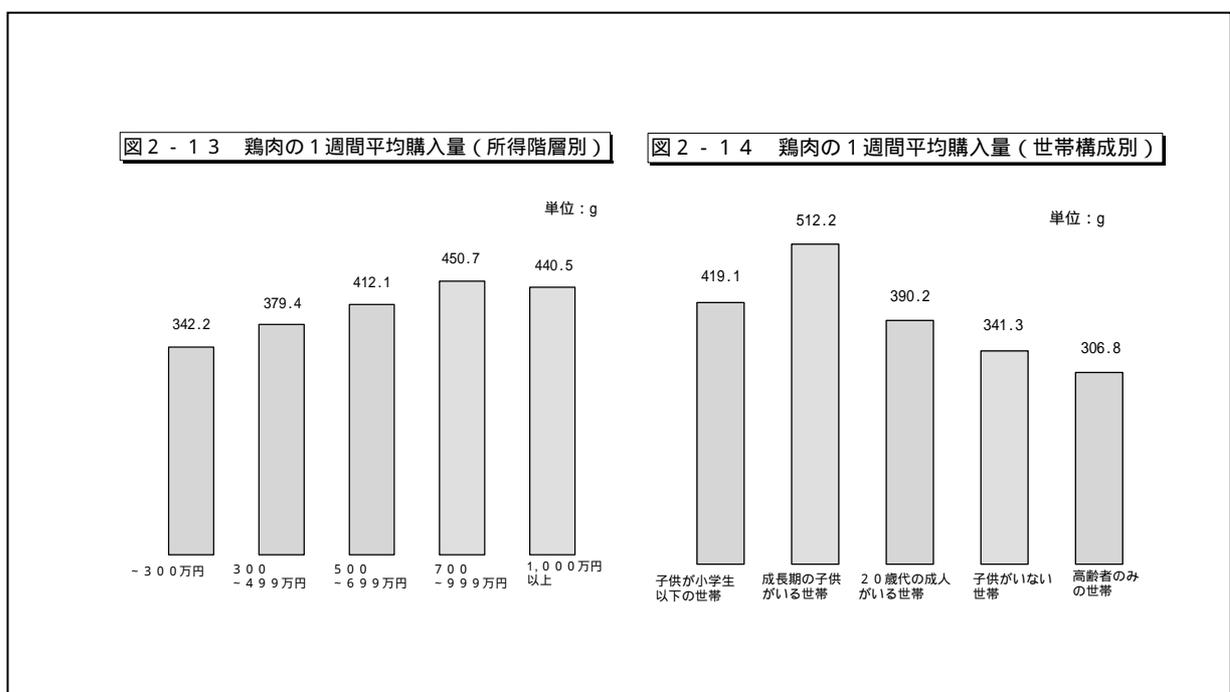
また、1世帯1週間当たりの平均購入量をみると410.5gとなっている。(表2-1)

これを所得階層別でみると、世帯間の差は豚肉同様、比較的小さい。(図2-13)

世帯構成別でみると、成長期の子供がいる世帯で平均購入量が最も多くなっている。

(図2-14)

地域別では、東日本よりも西日本が多くなっている。(表2-1)



## 2 食肉等の種類別購入金額構成

1週間当たりの食肉及び魚の購入金額の合計に占める、それぞれの購入金額の割合を図2-15、表2-3に示した。これによると、食肉の購入金額の割合は全体で62.1%、魚は37.9%であった。食肉種類別の購入金額構成の推移をみると、和牛肉、その他の国産牛肉など、国産牛肉の金額割合は、BSEの影響が大きかった前年同月に比べて大きく上昇し、まだ13年6月以前の水準には回復しつつある。一方、豚肉、鶏肉は前年同月よりも大きく減少し、BSE発生以前の水準となっている。

所得階層別でみると、1,000万円以上の高所得層で牛肉の購入金額比率が高く、このうち特に和牛肉で顕著となっている。

家事担当者の年齢別でみると、若年層では食肉の購入金額構成比率が高く、魚の購入金額比率は高齢層で高くなっている。

家事担当者の職業有無別でみると、職業を持っている家事担当者世帯では比較的食肉の購入が多く、職業を持っていない家事担当者世帯では魚の購入が多くなっている。

地域別でみると、食肉の購入金額比率は、西日本の方が高く、特に和牛肉、その他の国産牛肉については顕著となっている。また、豚肉については逆に東日本が高くなっている。魚は東日本の方が高くなっている。

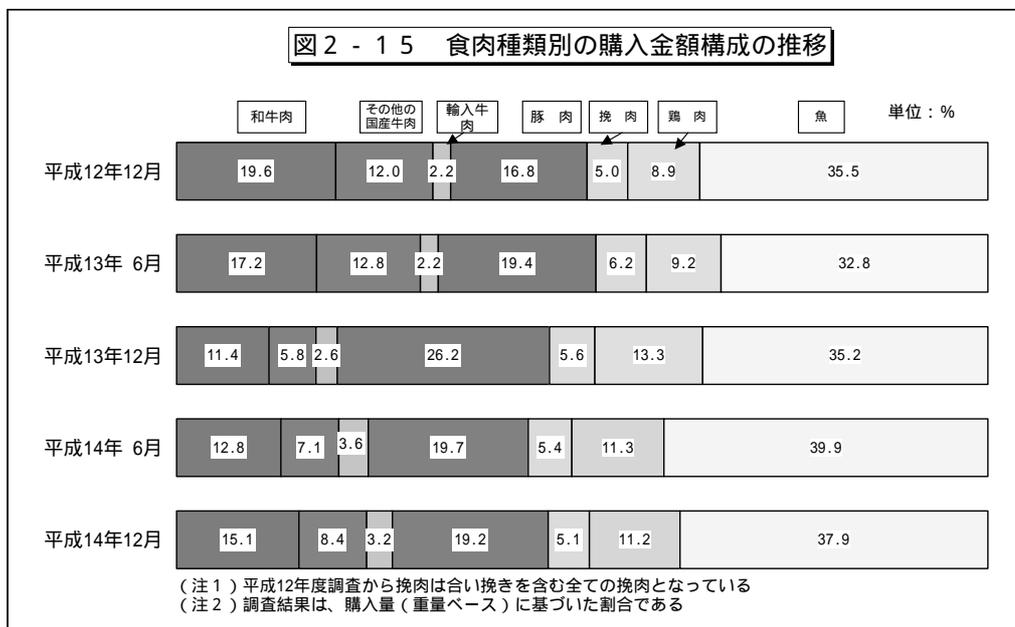


表2 - 3 食肉種類別1週間の購入金額割合

	調査対象数	購入金額合計	食肉								魚	
			%	牛肉			豚肉	挽肉	鶏肉	%		
				和牛肉	その他の国産牛肉	輸入牛肉						
世帯			%	%	%	%	%	%	%	%		
平成12年12月	2000	100.0	64.5	33.8	19.6	12.0	2.2	16.8	5.0	8.9	35.5	
平成13年6月	2000	100.0	67.2	32.3	17.2	12.8	2.2	19.4	6.2	9.2	32.8	
12月	2000	100.0	64.8	19.7	11.4	5.8	2.6	26.2	5.6	13.3	35.2	
平成14年6月	2065	100.0	59.9	23.6	12.8	7.1	3.6	19.7	5.4	11.3	39.9	
12月	2151	100.0	62.1	26.6	15.1	8.4	3.2	19.2	5.1	11.2	37.9	
所得階層	300万円未満	192	100.0	59.5	21.4	11.2	6.9	3.4	20.7	5.8	11.6	40.5
	300～499万円	604	100.0	60.6	23.6	12.6	7.4	3.6	20.3	5.2	11.6	39.4
	500～699万円	504	100.0	63.5	26.6	15.0	8.2	3.4	19.9	5.7	11.3	36.5
	700～999万円	541	100.0	62.3	28.4	15.9	9.2	3.3	18.4	4.7	10.9	37.7
	1000万円以上	247	100.0	63.3	31.1	19.7	9.3	2.1	17.0	4.7	10.6	36.7
	無回答	63	100.0	59.1	22.9	13.4	8.7	0.8	20.6	4.1	11.5	40.9
検定結果：-												
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	521	100.0	65.9	26.2	14.6	7.4	4.2	20.9	6.3	12.5	34.1
	成長期の子供がいる世帯	537	100.0	66.8	29.1	13.9	10.3	4.9	19.9	5.9	11.9	33.2
	20歳代の成人がいる世帯	501	100.0	60.8	23.4	12.5	8.3	2.5	20.2	5.9	11.4	39.2
	子供がいない世帯	364	100.0	57.0	27.2	18.9	7.2	1.0	17.5	2.7	9.6	43.0
高齢者のみの世帯	228	100.0	51.7	25.7	17.9	6.9	0.9	14.5	2.6	8.9	48.3	
検定結果：-												
家事担当者年齢	30歳未満	265	100.0	62.3	19.6	8.5	7.6	3.4	22.5	7.4	12.8	37.7
	30～39歳未満	667	100.0	66.2	26.8	14.5	7.7	4.7	21.1	6.0	12.3	33.8
	40～49歳未満	457	100.0	65.7	28.2	13.9	10.3	4.1	19.8	5.8	11.8	34.3
	50～59歳未満	385	100.0	58.7	27.5	16.5	9.0	2.1	17.4	4.0	9.8	41.3
	60歳以上	377	100.0	54.8	26.3	18.9	6.5	0.9	16.1	2.9	9.5	45.2
検定結果：-												
職業	持っている	908	100.0	64.5	28.0	15.0	9.3	3.7	19.7	5.3	11.5	35.5
	持っていない	1212	100.0	60.2	25.3	14.8	7.6	2.8	18.9	5.0	11.1	39.8
	無回答	31	100.0	65.5	36.0	23.3	9.9	2.8	17.9	4.2	7.5	34.5
検定結果：-												
地域	東日本	1287	100.0	59.5	22.3	12.3	6.9	3.1	20.9	5.1	11.2	40.5
	西日本	864	100.0	65.5	32.4	18.8	10.3	3.3	16.8	5.1	11.2	34.5

(注) 購入金額合計は、調査全世帯(2065世帯)の肉、魚の購入金額合計

検定結果：-